

ソックス (トップダウン&シェープドコモンヒール) 編みかた

1. **はきぐち**は、ゴム編みの作り目(____目)を輪にして、2目ゴム編みを必要段数(____段)、ぐるぐると編みます。(1号の輪針、またはクンスト針)
2. 甲の部分とかかと部分を半分ずつ分け(____目ずつ) 甲の部分は別系などに休めておきます。
3. かかと (ヒールフラップ) は往復編みで必要段数(____段) を編みます。
※サンプルの様子は、表からは表編みだけ、裏からは「裏1目・表1目」の繰り返しです。
4. **かかとの引き返し (底)** 部分をメリアス編みで編みます。
2目1度の減目をしながら必要段数 (____段) を編みます。
表側から編み始め、減目開始位置の手前 (右端からだと____目、中心からだと____目) まで編んで、右上2目1度で減目してから表目を1目を編みます。
次の段の始まりは (裏側) すべり目をし、表側と同様に減目します。表目のときにこのすべり目を2目1度します。
※中心にリングを入れてながら編むと分かりやすい。両端が1ずつ減目されていけばOK!
この引き返し編みが____段編めたら、全部で____目 (片側____目) の減目ができたことになります。
5. **マチ部分**を編みます。
かかとの右端に糸があるので、表目で1段を編み、今編んだ両かかとの段 (____段) から、____目を拾います。
※拾い目は平均計算で算出します。ブログの平均計算プログラムを使うと楽です。
6. **甲部分**をそのまま編み、反対側の段からも拾います。ここでかかとと甲がつながります。ここからは輪で編みます。
マチは、甲とかかとの境で (かかと側)、2段毎に2目1度の減目をします。(____段)
※減目は、かかと側から見て右端が右上2目1度、左端が左上2目1度です。(端の目が上になる減目)
かかとの引き返しが終わった時点で、針に残っているのが____目なので、____段を編めば、両側で____目ずつ____目の減目です。
分けたときの目数 (____目) になります。甲と合わせて____目になります。(最初の目数)
7. **つま先の手前まで**編みます。最初の目数に戻ったら、増減なしにグルグルと必要段数 (42段) を編みます。
8. **つま先**を編みます。今回は均等8分割の減目をやってみたいと思います。
____目は8で割り切れるので、8か所(1か所7目)に分けて境目にリングを入れておきます。
最初に増減なしに____段を編んで、後は2段毎に____回、境目で左上2目1度の減目をします。
最後の8目に糸を通して絞ります。糸始末をして終了。